

西暦	概要	出典
—	三国時代の魏から南北朝の齊・梁の時代に至るまで、倭国王は代々中国と交渉があった。	隋書
—	国王の姓は阿毎氏、初代国王・天御中主から彦瀬まで筑紫城に住み、神武天皇の時に都を大和州に移した。	新唐書
600	開皇二十年に倭王・阿毎多利思比孤が隋に遣使した。	隋書
581～600	用明天皇（（阿脱？）目多利思比孤）が隋の開皇末にはじめて中国と国交を通じた。	新唐書
581～600	隋の開皇年間に聖徳太子は使者を遣わし、海路中国に来て法華経を求めさせた。	宋史
607	倭王・阿毎多利思比孤が隋に遣使した。	隋書
608	隋は裴世清を倭国に派遣した。	隋書
604～617	隋の煬帝の時に煬帝は使者を遣わして日本国の役人に錦綾冠を賜った。	新唐書
631	倭国王の姓は阿毎氏で、倭国王は使者を遣わしてその土地の産物を太宗に献上させた。	旧唐書
631	日本国は使者を派遣して唐に入朝させた。	新唐書
648	倭国王は太宗に上表文を届けた。	旧唐書
650～656	永徽年間の初め、日本国王の孝徳が即位し、改元して年号を白雉に改めた折に、琥珀とメノウを唐に献上してきた。 ほどなく、日本国では孝徳が死に、その子の天豊財（齊明天皇）が位を継いだ。	新唐書
670～674	唐の咸亨年間の初めに国名を日本と改めた。	明史